

2018.08.18 函館市教育振興フォーラム

# 地域とともにある学校づくり

～子どもたちの未来のために、今、私たちにできること～



文部科学省CSマイスター（コミュニティ・スクール推進員）

一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事 四柳 千夏子

## ➤これからの子どもたちに求められる力は・・・

○人工知能がいかに進化しようとも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である。一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができる。多様な文脈が複雑に入り交じった環境の中でも、場面や状況を理解して自ら目的を設定し、その目的に応じて必要な情報を見だし、情報を基に深く理解して自らの考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることができるという強みを持っている。（新学習指導要領H28.12答申より抜粋）

参考サイト

<http://www.mext.go.jp/>

文部科学省ホームページ

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

学校と地域でつくる学びの未来



## 今を生きる子どもたち

いじめ

不登校

受験戦争

貧困

学力格差

規範意識

コミュニケーション力低下



## 先生たちもまた、厳しい現状



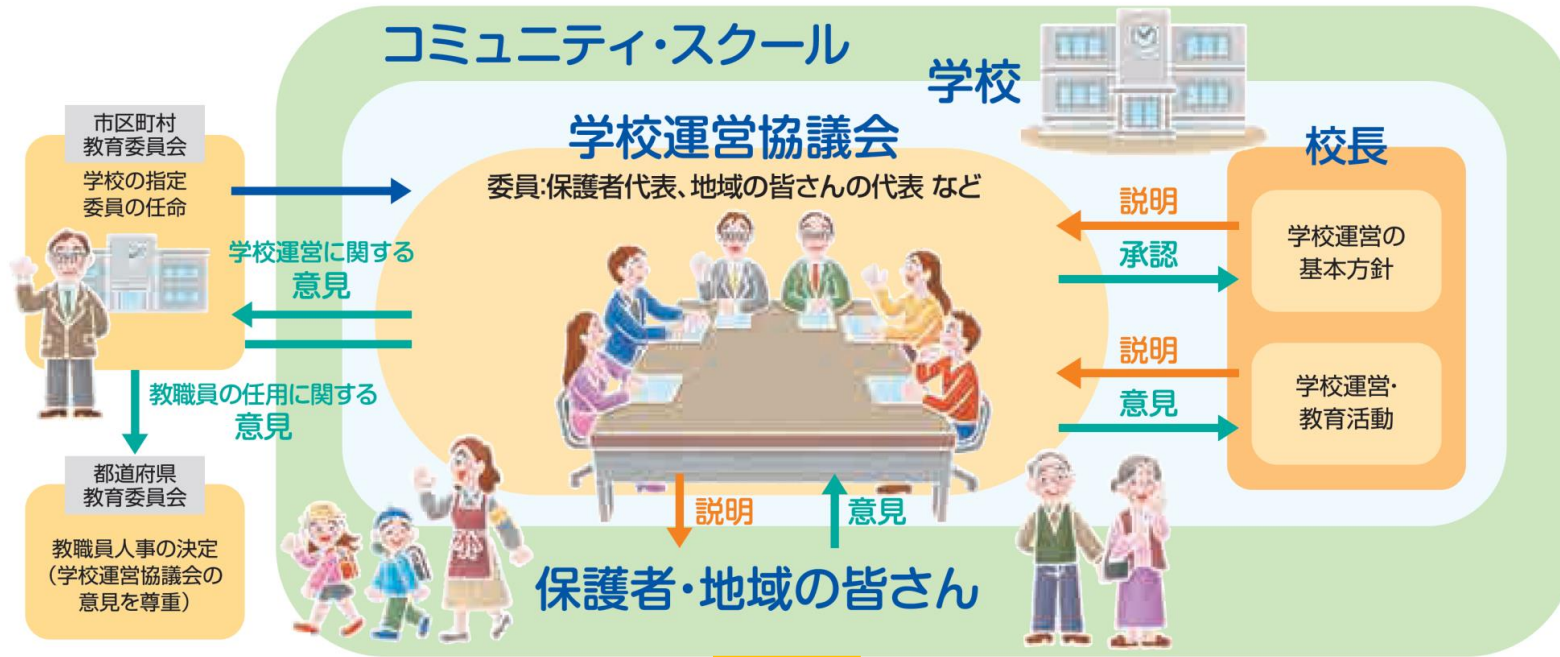
子どもの教育は学校だけが  
背負うものでしょうか？



## ➤だから今、「地域とともにある学校」が必要なのです。

開かれた学校から更に一歩踏み出し、  
地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む  
**『地域とともにある学校』へと転換**していくことを目指して、取組を推進していく必要。

### ➤ コミュニティ・スクールは地域とともにある学校づくりの有効なツール



**コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していく仕組み。**  
**学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立され、協働の基盤が確固たるものに。**

まずは、「地域とともにある学校」(コミュニティ・スクール)について

# 東京都三鷹市

人口： 約18万人  
\* 公立小学校（15校）  
児童数：約8,300人  
\* 公立中学校（7校）  
生徒数：約3,200人



# 東京都三鷹市

住みたい街No.1！の吉祥寺 のとなりまち



山本有三記念館



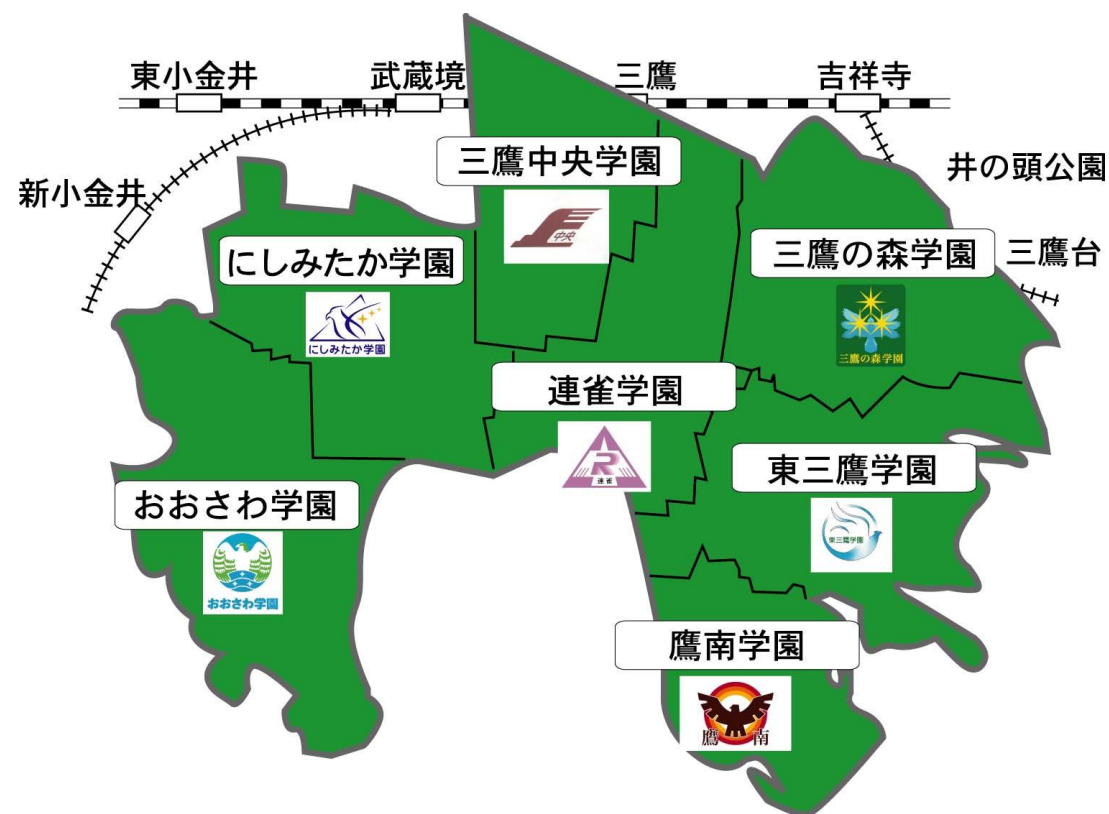
三鷹の森ジブリ美術館



国立天文台

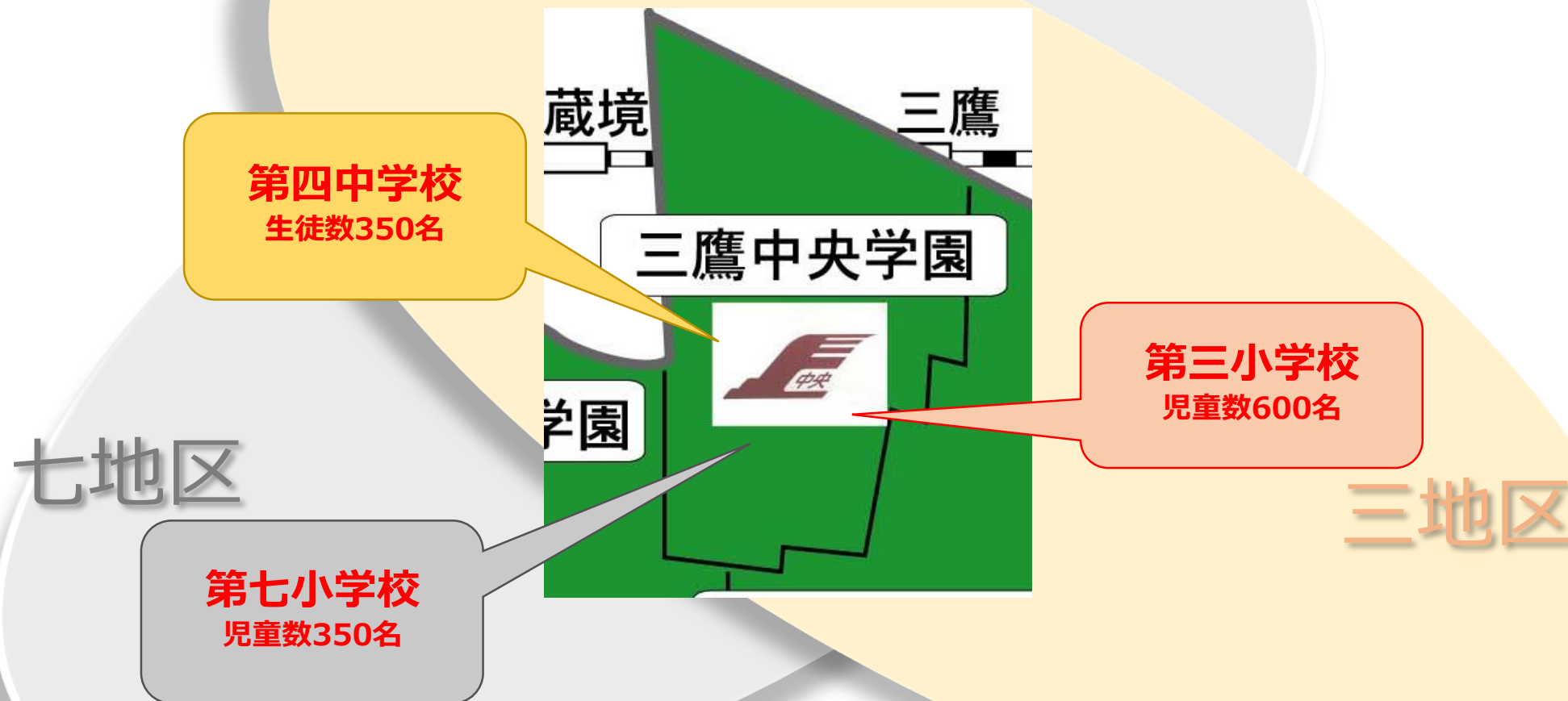


三鷹市では、  
「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」  
を市内公立小中学校22校すべてで行っています。



| 平成18年4月 | にしみたか学園 | 二小・井口小・二中    |
|---------|---------|--------------|
| 平成20年4月 | 連雀学園    | 四小・六小・南浦小・一中 |
| 4月      | 東三鷹学園   | 一小・北野小・六中    |
| 4月      | おおさわ学園  | 大沢台小・羽沢小・七中  |
| 平成21年4月 | 三鷹の森学園  | 五小・高山小・三中    |
| 4月      | 三鷹中央学園  | 三小・七小・四中     |
| 9月      | 鷹南学園    | 中原小・東台小・五中   |

➤ 三鷹中央学園は、中学校1校、小学校2校、地域も2つ



## コミュニティ・スクールとは？

「学校運営協議会」を設置している学校のこと

## 学校運営協議会とは？

法律に基づき、一定の権限と責任を持ち、保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校」づくりの核となる組織です。

## 学校運営協議会の役割は？

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認しなければならない。
- ・学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることができる。
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

# ➤ コミュニティ・スクールとはどんな学校か？（私たちバージョン）

平成30年度 三鷹中央学園CS委員会保護者向けプリントより

## ■皆さんの声が反映される学校です！

三鷹中央学園では、毎年、学園・学校評価アンケートを学園の全保護者に向けて実施しています。SMP分析により学園の魅力や課題点を抽出し、CS委員会で協議されます。その内容をもとに次年度の学園や各学校の教育方針が提示されます。そこに皆さんの声が反映されているかどうかを点検し、承認するのがCS委員会の大きな役割です。

## ■皆さんが教育活動に参画できる学校です！

地域の多様な大人が教育活動にかかわることで、子どもたちの学びはより豊かになります。また、学習ボランティアが授業をサポートすることで、先生方の授業がより充実したものになり、子どもたちの理解がより深まります。CS委員会が学校のニーズと皆さんの支援の力をつないでいます。子どもたちが自らチャレンジする各種検定の団体受検や補習学習教室の推進もしています。

## ■地域ぐるみで子どもたちを育てる学校です！

子どもは地域の宝です。地域のすべての大人が当事者意識をもって子どもたちの義務教育9年間に責任を持つ、そのためにできることは何だろう？学校と一緒にそれらを考え。実践し、多くの大人にかかわっていただく。防災教育や地域の皆さんと子どもたちのふれあい学習など、地域に根ざした公立学校ならではの教育活動を通して、地域を愛する心を育成します。CS委員会の活動は地域づくりにもつながっています。

# ➤ 三鷹市のコミュニティ・スクール委員会の主な役割

## 協 議



教育の当事者として、子どもたちや学校の現状を把握しながら、育てたい子ども像（ビジョン）を共有して、学園の教育目標の実現に向けて、熟議（よく話し合う）を行っています。

## 支 援



学校の教育活動をお手伝いしたり、ときには先生と一緒に授業を作る「参画授業」に取り組んでいます。学校で、そして地域で、子どもたちを見守り育てる輪を広げるのも私たちの役目です。

## 評 価

関係者が目標を共有するためには現状を把握することが大切。学校関係者評価、保護者・地域への外部アンケートなどを継続的・効果的に行えるよう教務の先生方と連携を取りながら成果と課題を共有します。

## 広 報

C S委員会だよりやホームページを活用して、学校、家庭、地域それぞれが互いを理解し合い、情報を共有できるよう発信しています。「パワーアップアクションプラン」を具体例をあげながら啓発したりしています。

協議  
(熟議)

支援  
(協働)

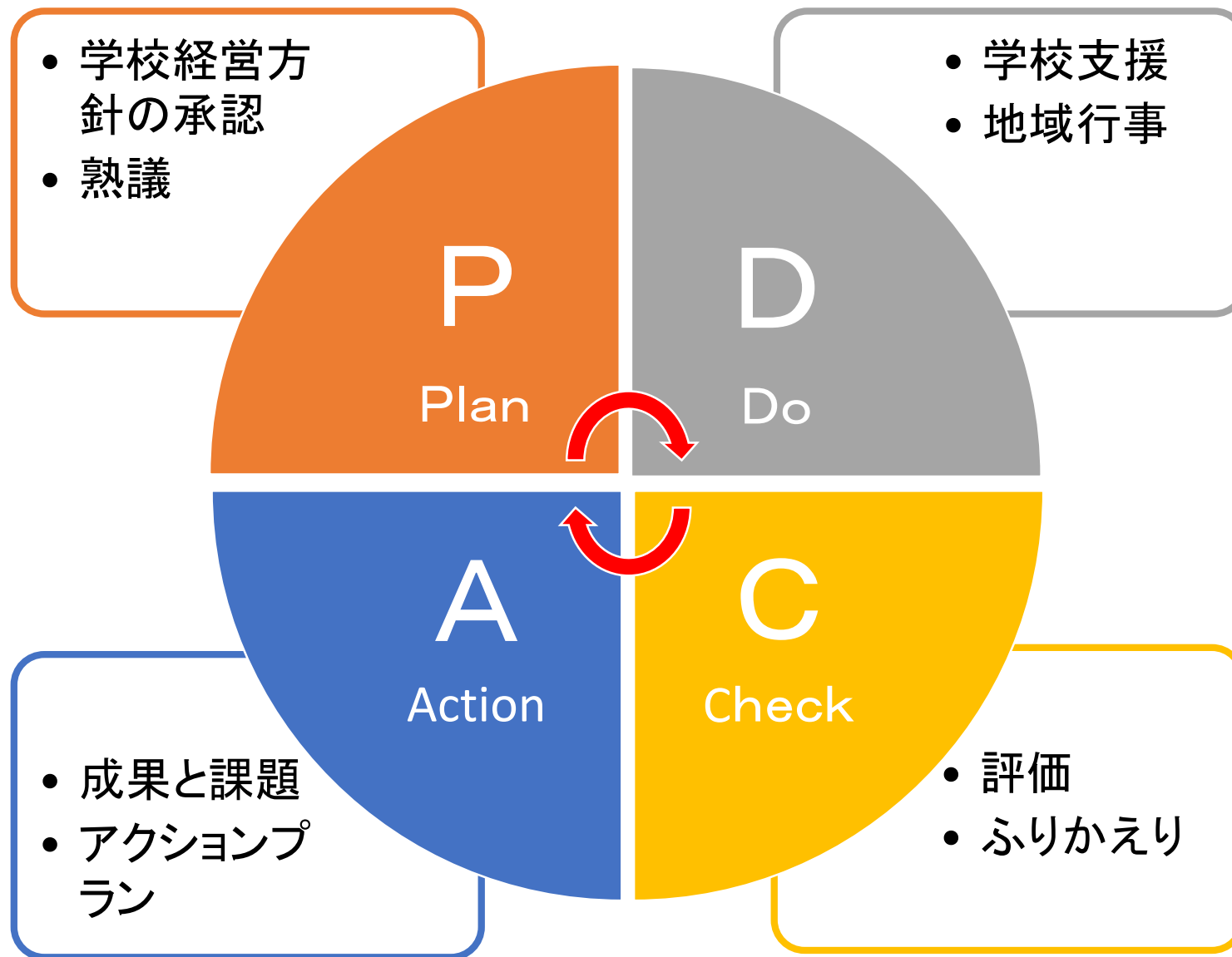


# 学園の教育目標の実現

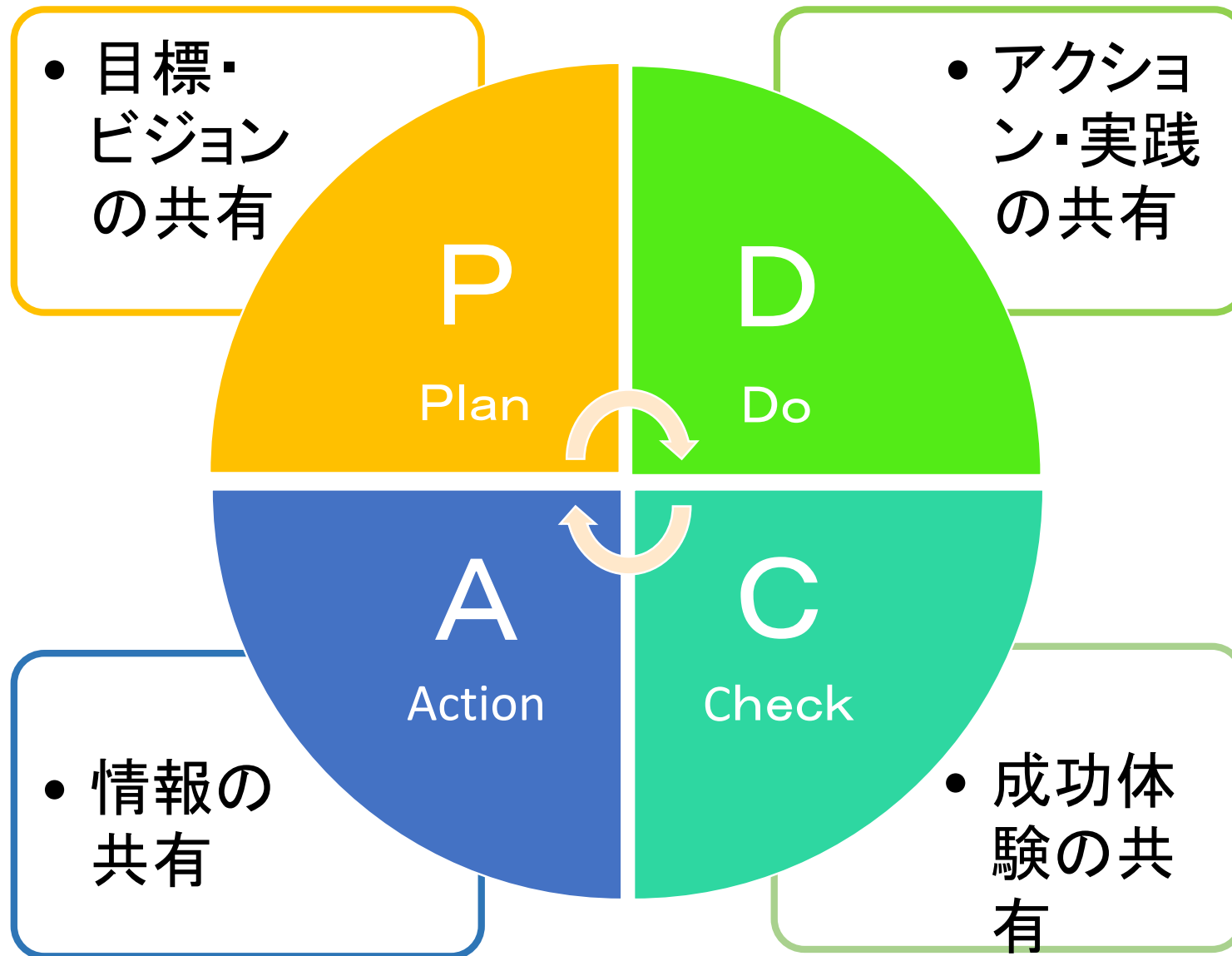
## 【コミュニティ・スクール委員会の役割】

- ・ 学園及び各学校の基本方針についての承認
- ・ 学園及び各校の具体的方策に対しての学校支援
- ・ 進捗状況の点検、学校関係者評価や外部評価（児童生徒評価、保護者評価）の実施・分析
- ・ 教育目標の実現に向けてのアクションプランの検討、提言、発信、啓発

# 大切なのは、共有しながら「PDCA」を回すこと

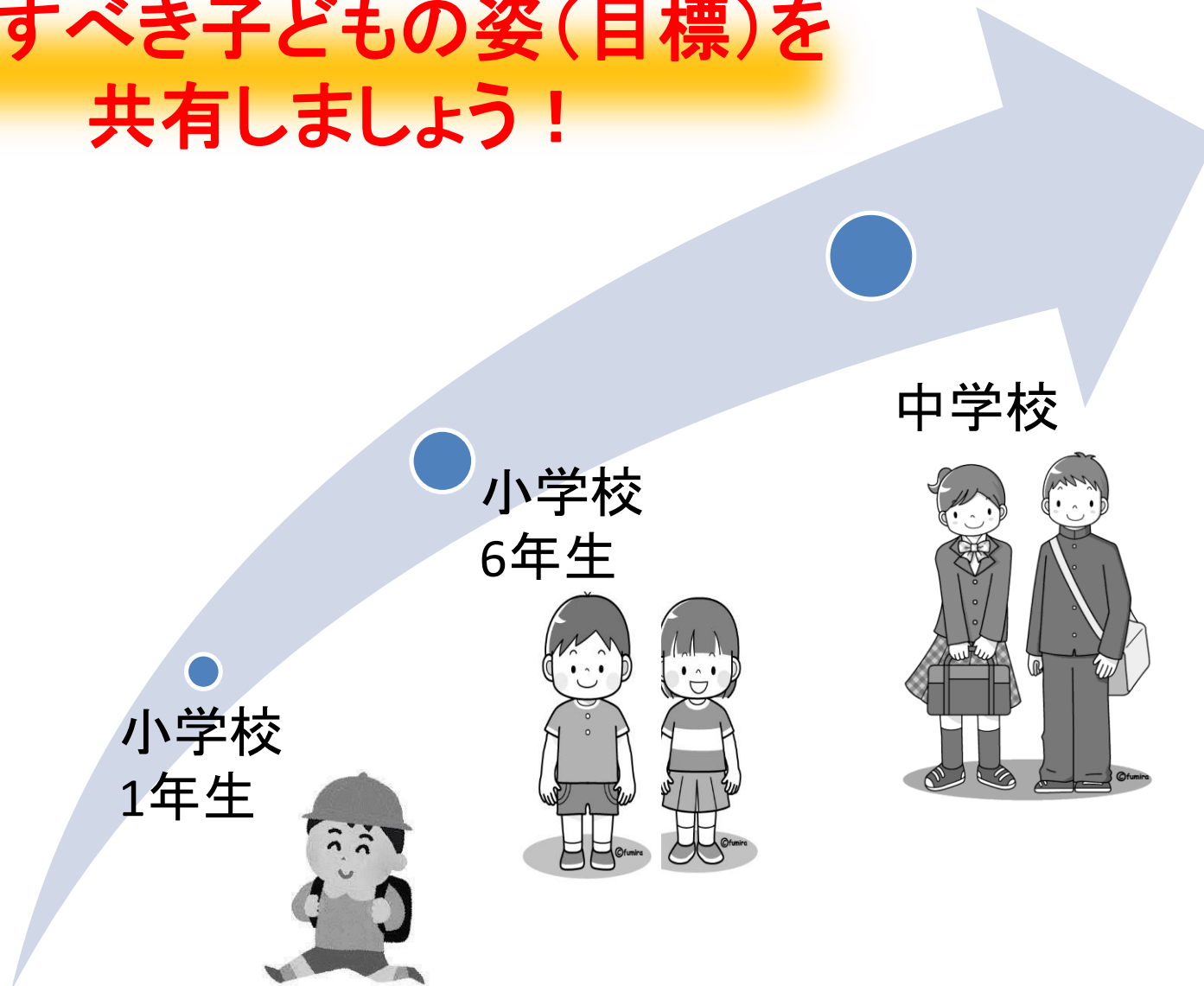


共にあゆみ、共に汗する、「協働」。そのために必要なのは「共有」



まずは...

目指すべき子どもの姿(目標)を  
共有しましょう！



繰り返して  
話し合うことで



生まれる  
共有と相互理解



## 話し合いには工夫が必要です！

- 年齢も、性別も、立場も、考え方もいろいろな人が集まっています。
- 口の字型での大人数の会議で、一度も発言しない方もいます。
- いつも強い意見、声の大きい人もいます。



私たちは、**熟議**をよくやっています。

## 三鷹中央学園 「目指す学園生像」

## 学校での取組

## 子どもの取組

## 家庭での取組

## 地域での取組

すすんで学ぶ人  
確かな学力をはぐくむ

1. 魅力ある授業づくりを実践する
2. 授業内容に関連した本を紹介し、読書への興味につなげる
3. 授業と家庭学習の関連性を重視した指導を行う

1. 話をよく聞き、分からないことがあったらそのままにしない
2. 読書の習慣を身に付ける
3. 宿題を忘れずにやり、時間のけじめをつけて家庭学習をする

1. 子どもたちの学習内容に関心を持ち、声をかける
2. 本に親しむ習慣を付ける
3. 子どもが家庭学習に集中できるような環境(時間・場所)をつくる

1. 学習に関わる地域の人財や環境づくりに協力する
2. 学校図書館と地域の図書館が連携したり、読み聞かせなどのボランティアなどに協力する
3. 放課後や長期休業中に子どもたちが学べる環境づくりや子どもが挑戦できる検定(漢検、英検、数検など)を行う

感謝と思いやり  
の心をもつ人  
豊かな人間性をはぐくむ

1. 互いを認め合える学級をつくる
2. 他学年の子どもと交流し、協力できるようにする
3. 「あいさつは自分から、返事ははい」を指導する
4. 感謝の気持ちを伝えられるようにする

1. 学校であったことについて家で話す
2. 友達のよいところを認めたり、思いやりのある声をかけたりする
3. 自分から進んであいさつをする
4. 自分から進んで「ありがとう」を言う
5. 家のお手伝いをする

1. 家庭での対話を大切にする
2. 家庭で大人が率先して子どもにあいさつをする
3. 家庭で大人が率先して子どもに感謝の気持ちを伝える
4. 家庭で話し合い、毎日できるお手伝いを決め、継続させる

1. 子どもの体験を深める活動を行う
2. 大人が子どもにあいさつなどの手本を示す
3. 子どもを褒める場をつくる

たくましい心と  
体をもつ人  
心身の健康をはぐくむ

1. 時間を守り、けじめのある集団生活ができる学級をつくる
2. 運動・部活動をしやすい環境をつくり、目標を持たせる
3. 望ましい生活習慣を示し、重要性を伝える
4. 食育を推進する
5. コミュニケーションツールの適切な利用方法やルールについて指導する

1. 時間を守って行動する
2. 目標をもって運動・部活動に取り組む
3. 十分な睡眠時間を確保し、毎日食事をとる習慣をつける
4. 食べ物の好き嫌いをなくす
5. ゲームやケータイ・スマホ等の利用ルールを決める

1. 子どもが約束の時間を守って行動できるようにする
2. 家庭で体を動かす機会をつくる
3. 早寝早起き朝ごはんを励行し、子どもが規則正しい生活ができるようにする
4. 子どもが食べ物の好き嫌いをなくすようにする
5. ゲームやケータイ・スマホ等の利用ルールを決める

1. 子どもの体力づくりを推進する活動を行う

地域・社会に  
貢献する人

地域を愛する心と態度をはぐくむ

1. 委員会や係活動で自分の役割をもって行動できるようにする
2. 学校行事・地域行事を通して成長する環境をつくる
3. 防災訓練を行い、災害に備える
4. 地域と関わる学習でつながりを深める

1. 自分の役割を責任をもって果たす
2. ボランティア活動・地域行事に参加する
3. 地域の防災訓練に参加する
4. 一人ひとりが安全な過ごし方を考えて生活する。子ども同士声をかけあう

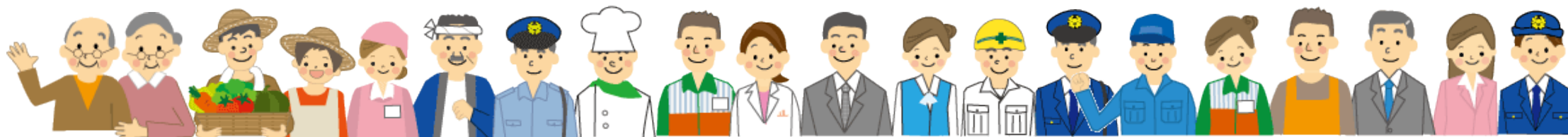
1. 学校行事・地域行事に参加する
2. 地域の防災訓練に参加する
3. 家族で安全な過ごし方を考えて生活する

1. 子どもにとって安全で安心な環境をつくる

# 学校を核として地域がゆるやかにつながる＝連携



# ➤ 地域の強みを生かして学校教育を支援する





写真左：  
まちたんけん(小2)  
自転車屋さんにて

写真右：  
地域安全マップ  
をつくろう(小4)



写真左：  
昔あそびをしよう  
(小1)

写真右：  
放課後  
パワーアップ学習会



# ➤ 例えばこんなつなげ方 ①参画授業

## ～小3「地域安全マップを作ろう」の授業～



### ①授業開始

- ・三鷹市安全安心課
  - ・三鷹警察
  - ・保護者・地域のお手伝い
- 約30名

### ②事前学習



### ③班ごとにフィールドワーク





④班ごとにマップ作成



⑤発表、講評



平成30年4月26日(木)

第4学年 総合的な学習の時間指導計画

1 単元名 「『地域安全マップ』を作ろう」

2 わらい ○防犯の視点で「安全な場所」や「危険な場所」に気付くことができる。【問題解決能力】  
○地域の目としての自覚をもち、より安全なまちづくりについて追究することができる。【問題解決能力】  
○フィールドワークで調べたことを分かりやすく地域安全マップにまとめ、発表することができる。【コミュニケーション能力】

3 指導計画(全15時間) ★…地域の方に協力いただきたい点です。

| 学習過程                 | 日程                                   | ○主な学習活動 ◇は教育ボランティアが参加                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>つかむ<br>↓<br>把握 | 5/19(土)<br>の中で<br>各クラス<br>1h<br>学校公開 | ○学習の見直しをもつ。<br>○DVDを見て、危険な場所を見つける視点について理解する。(犯罪の起こりやすい場所・事故の起こりやすい場所・その他危険な場所)<br>★三鷹市安全安心マップのよりVTRメッセージをいただく。やいふていねい                                                                                                                                                                                                                       |
| 追究する                 | 5/26(木)or<br>5/28(土)<br>3~4h         | ○フィールドワークの計画を立てる。<br>(グループ作り・役割分担・行く場所の決定・決まりの確認)<br>・エリアA…下連雀3丁目(駅前周辺)<br>・エリアB…下連雀4丁目(八幡神社)<br>・エリアC…上連雀4丁目(三小周辺)<br>・エリアD…上連雀2丁目(上連雀あみず児童遊園)<br>・エリアE…上連雀3丁目(すずかけ児童遊園)<br>・エリアF…上連雀1丁目(堀合方面)<br>◇フィールドワークに出かけ、「危険な場所」や「安全な場所」を探したり、写真を撮ったりする。地域の方にインタビューをして、住んでいる人から見た「危険な場所」や「安全な場所」を知る。<br>★保護者・学習ボランティア・CS・サポートネット・三鷹警察・セコムに協力していただく。 |
|                      | 原稿含め、<br>6/14(木)まで<br>(6時間)<br>完成目安  | ○学区の地図を作り、「危険な場所」や「安全な場所」のマークを決めて地図上に表す。<br>○危険である理由、安全である理由を明確にする。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                      | ~6/22(金)                             | ○まとめた「地域安全マップ」の発表を行う準備をする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                      | 6/23(土)<br>1・2h                      | ○「地域安全マップ」を発表する。<br>★三鷹市の方に提案書を受け取っていただく。<br>★サポートネットの方に発表の感想をいただく。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| まとめる                 | 6/24(日)<br>(1時間)                     | ○発表会出席者からの感想を元に、活動を振り返る。<br>○単元を振り返ってまとめをする。<br>○「地域に働きかけよう」への意欲をもつ。                                                                                                                                                                                                                                                                        |

18期生 保の者、各和  
★CS、サポネット  
・行政、K県はfreeに、  
・金持ちfreeに、  
5/19(土)  
5/23(月)  
28(月)  
6/23(土)

## 《参画授業のつなぎ方(例)》

①先生からの依頼



②授業計画を立てるための下打ち合わせ



③打ち合わせ／授業計画の修正等



④協力者に声かけ



⑤授業直前お手伝い者への説明



⑥授業実施

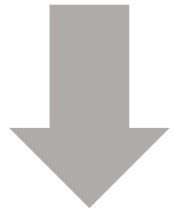


⑦振り返り

# ➤ 例えばこんなつなげ方 ②放課後補習教室(七小PUT)

## ◆ 先生からの困りごと

「子どもたちの学力、何とかしないと！」



- ・やり方の打ち合わせ
- ・児童、保護者への周知
- ・ボランティア主導で実施

## ◆ ボランティアからの困りごと

「他人のお子さんには教えられない」

「私たちは教育の素人、教えるスキルは無い」



- ・ボランティアからのヒアリング
- ・学校との打ち合わせ
- ・学校主導で実施

先生⇒ プリント、模範解答の準備、1

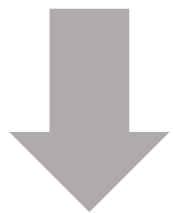
10分ほどのミニ授業

ボランティア⇒ 丸付け、励まし、声かけ

役割分担で効果的に



## 地域未来塾 ついに予算化！！！！



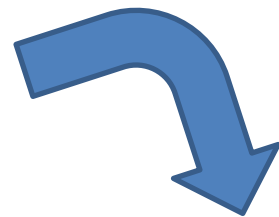
- ◆ 回数を増やし、子どもたちにより効果を
- ◆ 教員の働き方改革
- ◆ 有償になったことの責任？



今後の運営も学校と話し合いながら



# ➤ 例えばこんなつなげ方 ③ 防災教育





地域の防災訓練に、  
地元の小中高生を！



中高生のメリット  
地域のメリット



# 「地域とともにある学校」をつくることは子どもの未来をつくること

## 全員参加、みんなが一つのチームです

- ・当事者意識をもって。誰かがやってくれることではありません！

## 立場の違いを理解しましょう

- ・小学校教員、中学校教員、保護者、地域（地域もイロイロ）

## どの意見も同じ一票です

- ・少数意見も大切に、話し合いに年功序列はアリマセン

## 「よし、みんなでやってみよう」と思えるアイデアを

- ・課題解決に向けた具体的で前向きな話し合いを

## 手段が目的にならないように

- ・私たちは「何のために」やっているのか？に立ち返る



# 地域が子どもたちにしてあげられること



あいさつをする  
見守る  
励ます  
手本になる

声をかける  
寄り添う  
ほめる  
背中を見せる

→  
地域のまなざし

子どもたちの  
心の安定  
自己有用感  
自己肯定感

誰かが何とかしてくれる、のではなく、  
自分たちが「当事者」として、  
自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。

子供たちのために学校をよくしたい、元気な地域をつくりたい、  
そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、  
子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、  
これからの未来の姿である。

(平成27年12月 中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」おわりに)

何のために学校と地域が連携・協働していかな  
ければならないか。

理想的な未来を創り上げていくために、関係者  
がその理念を共有し、手を取り合い、行動して  
いくことが不可欠。

子供たちが志を果たしていける未来のために、  
皆さんの「志」と「新たな一歩」を。

熟議をやってみよう

熟議実践編

## ＜熟議の進行の一例＞

- ①各テーブルに模造紙、付箋、マジックを用意する
- ②自己紹介をする(アイスブレイク)
- ③役割を決める(進行役、マジック係、発表係など)
- ④与えられたテーマについて自分の意見を付箋に書く
- ⑤グループで話しながら模造紙に付箋を貼っていく
- ⑥グループで話しながら付箋を仲間分けしていく
- ⑦グループでまとめたものを発表する
- ⑧出た意見の中から、1つでも「やってみる」
- ⑨やってどうだったかを振り返る

## <熟議でのルール>

- ★一人だけがたくさんしゃべらない！
- ★付箋には一枚に一つのことを書く。
- ★人の話をよく聞く。
- ★人の意見を否定したり批判したりしない。

## <熟議に臨むために大切な視点>

- 当事者意識
- 相互理解
- 共有
- 課題解決

## 本日のめざすべきゴールは

- \* 自分たちに  
「今すぐできること」  
のアイデアを出そう！

## <テーマ1>

■子どもたちが身に付けるべき「生きる力」とはどんな力か

## <テーマ2>

■その実現のために自分にできることは何だろうか？



- 会議に出ている人全員の意見を引き出す
  - 人の意見を聞き、さらに見える化
  - 一部の人の意見に左右されない
- ⇒「会議に参加している」「意見を言えた」感
- ## 意識改革

## 会議の工夫

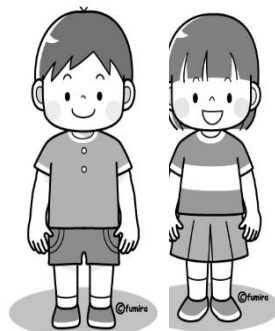


目指すべき子どもの姿(目標)を  
共有しましょう！

小学校  
1年生



小学校  
6年生



中学校3年生

